

木曾栄作名誉教授略歴

明治38年(1905年)

1月19日 北海道小樽市色内町に生まれた。父仁三郎，母ふじの長男。

明治44年(1911年)

4月1日 小樽色内尋常高等小学校へ入学。

大正8年(1919年)

3月31日 小樽色内尋常高等小学校高等科を卒業。

4月1日 北海道庁立小樽商業学校へ入学。

大正13年(1924年)

3月10日 北海道庁立小樽商業学校を卒業。

4月1日 小樽高等商業学校へ入学。

昭和2年(1927年)

3月31日 小樽高等商業学校を卒業。

4月1日 幹部候補生として歩兵第28連隊へ入隊。

昭和3年(1928年)

1月31日 満期除隊により予備役に編入された。

3月14日 小樽市高等女学校教諭に任ぜられた。

昭和5年(1930年)

5月15日 小樽高等商業学校非常勤講師として英語授業実習指導を囑託された。

昭和6年(1931年)

3月31日 陸軍歩兵少尉に任ぜられた。

4月7日 小樽高等女学校教諭を退職。

4月8日 小樽高等商業学校助教授に任ぜられた。

昭和11年(1936年)

8月22日 小樽高等商業学校教授に任ぜられた。

昭和12年(1937年)

4月6日 アメリカ合衆国へ出張を命ぜられた。

9月 アメリカ合衆国ペンシルヴァニア大学経営学部大学院に入学。

昭和13年(1938年)

3月1日 商業英語および外国貿易研究のため満1年8カ月文部省在外研究員としてアメリカ合衆国へ在留を命ぜられた。

昭和14年(1939年)

6月14日 アメリカ合衆国ペンシルヴァニア大学経営学部大学院修士課程修了。

(136)

9月30日 イギリス・ドイツ・フランス・イタリア等を視察し帰朝。

昭和18年 (1943年)

7月1日 高等官4等に叙せられた。

7月15日 正6位に叙せられた。

昭和19年 (1944年)

4月1日 官制改正により小樽高等商業学校が小樽経済専門学校と改称されたのに伴ない、小樽経済専門学校教授に任ぜられた。

昭和20年 (1945年)

7月25日 勲6等に叙せられ、瑞宝章を授けられた。

昭和24年 (1949年)

3月 大学設置委員会の資格審査において新制大学の教授に適格であると判定された。

7月9日 官制改正により小樽経済専門学校が小樽商科大学に昇格したのに伴ない、小樽商科大学教授に補せられた。

昭和25年 (1950年)

4月1日 小樽商科大学教授に配置換えされ、兼ねて小樽経済専門学校教授に補せられた。

昭和26年 (1951年)

3月31日 小樽商科大学に併置されていた小樽経済専門学校の廃止に伴ない、小樽経済専門学校教授の兼職を解かれた。

昭和35年 (1960年)

8月27日 アメリカ合衆国へ出張を命ぜられ、ミシガン大学大学院言語学科において英語学及び外国語教授法を研究。

昭和36年 (1961年)

8月26日 帰朝。

昭和42年 (1967年)

3月31日 小樽商科大学を退職。

4月1日 小樽商科大学名誉教授の称号を授与された。

4月1日 学校法人小樽昭和学園小樽女子短期大学学長に就任した。

(昭和42年11月15日現在)

木曾栄作名誉教授著作目録

昭和 6年 (1931年)

10月 「C.I.F. 契約の理論と実際」, 「小樽高等商業学校創立 20 周年記念論文集」所収。

昭和 7年 (1932年)

10月 「信用状発行銀行を繞る法律関係について」, 小樽高等商業学校「商学討究」第 7 卷中冊所収。

昭和 8年 (1933年)

10月 「C.I.F 契約における所有権の移転」, 小樽高等商業学校「商学討究」第 8 卷中冊所収。

昭和 11年 (1936年)

12月 「貿易金融方法の商学的考察」, 「小樽高等商業学校創立25周年記念論文集」所収。

昭和 14年 (1939年)

6月 *Japan's Recent Foreign Trade Policy* (米国ペンシルヴァニア大学経営学部大学院修士論文)。

昭和 15年 (1940年)

1月～12月 「商業英語における語法研究」, 「商業英語」第 8 卷第 1号～第 12号所収。

12月 「アメリカ互惠通商協定政策の研究」, 小樽高等商業学校紀元 2600 年記念論文集「国家と経済」所収。

昭和 19年 (1944年)

9月 「レニンソン著《工業立地における国家的干渉》」(書評), 小樽高等商業学校「北方経済研究」第 1号所収。

昭和 20年 (1945年)

3月 「アラスカ植民地経済と資源」, 小樽経済専門学校「北方経済研究」第 2号所収。

昭和 21年 (1946年)

1月 「英語時制の研究」, 新世紀社刊。

2月 「米英語法便覧」, 高和堂書房刊。

昭和 24年 (1949年)

10月 「貿易経営要論」, 国元書房刊。

昭和 25年 (1950年)

3月 「国際カルテル序説」, 「小樽商科大学開学記念論文集」所収。

昭和 26年 (1951年)

11月 「商事危険分散論」, 小樽商科大学「商学討究」第 2 卷第 2号所収。

(138)

昭和27年(1952年)

6月 「C. R. ウイットレシィ著《国家的利益と国際カルテル》」(書評), 小樽商科大学「商学討究」第3巻第1号所収。

昭和28年(1953年)

7月 「A. R. コナン著《スターリング通貨圏》」(書評), 小樽商科大学「商学討究」第4巻第1号所収。

12月 「商業英語活用辞典」, 三省堂刊。

〃 「基礎をつくる英作文」, 左文字書店刊。

昭和29年(1954年)

6月 「最恵国約款論考」, 「商学討究」第5巻第1号所収。

昭和30年(1955年)

9月 「Goudriaan 他編著《商品貿易と経済発展》」(書評), 小樽商科大学「商学討究」第6巻第2号所収。

昭和31年(1956年)

4月 「貿易経営要論」改訂増補版。国元書房刊。

昭和32年(1957年)

10月~12月 「英文電報演習教室」, 「商業英語」第13巻第10号~12号所収。

昭和33年(1958年)

1月~4月 「英文電報演習教室」, 「商業英語」第14巻第1号~第4号所収。

3月 「英語基本文型集」, 新星社刊。

6月, 8月~10月 「英文電報演習教室」, 「商業英語」第14巻第6号, 第8号~第10号所収。

昭和34年(1959年)

1月~5月 “Business Letter Writer's Notebook”, 「商業英語」第15巻第1号~第5号所収。

5月 「商業英語活用辞典」増補版, 三省堂刊。

昭和37年(1962年)

11月 “On the Technique of Business English Writing (1)”, 小樽商科大学「商学討究」第13巻第3号所収。

昭和38年(1963年)

11月 “On the Technique of Business English Writing (2)”, 小樽商科大学「商学討究」第14巻第3号所収。

昭和40年(1965年)

3月 「完成英作文演習」, 山口書店刊。

昭和42年(1966年)

3月 「英作文必修基本文型集」, 山口書店刊。

(昭和43年11月15日現在)